

おはようございます。日本維新の会の辻信行でございます。

第 24 回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。

先輩同僚の皆様におかれましては、しばらくの間ご清聴のほど、よろしくお願いいたします。

早速ですが、質問に入らせていただきます。

まずは、小学校の早朝開門について伺いいたします。

早朝開門の小学校とは、登校開始時刻より前に学校を開放し、警備員や見守り員などが児童を見守る取り組みを行っている小学校です。

早朝開門の目的は、子どもの朝の居場所を確保し、出勤時間の早い保護者の働きやすさを向上させることです。多くの小学校では保育園よりも開門時間が遅いため、出勤時間の早い保護者にとっては子供の就学で働きにくくなる「小 1 の壁」となっています。

早朝開門の小学校では、児童は本来の登校時間まで小学校の体育館や学童などの施設で過ごし、読書や学習用のパソコンを使用したり、自習や軽い運動をしたりして過ごすようです。

一部の自治体で早朝登校の取り組みが始まっており、全国に広がっています。

となりの豊中市では、市立小学校の校門を午前 7 時に開けて、児童を体育館などで見守る事業を、令和6年4月から開始しています。豊中市は、1 学期の利用者が延べ約 5900 人だったと明らかにし、「こんなにもニーズがあるとは思わなかった。さらに拡充したい」と話しています。

事業は「小 1 の壁」と呼ばれる問題を踏まえて始まり、共働き家庭の場合、小学校入学前までは延長保育を使って午前 7 時から子どもを預けられたが、小学校入学後は預け先が見つからず、早く出勤しなければいけない親は働きづらくなる。そこで、市は今年度から全市立小学校で開門時間を早めました。利用するには、事前申し込みが必要です。また、児童の安全面の確保の観点から、見守り場所の入り口まで保護者の付き添いが必要です。登校した児童の見守りは、市教育委員会から委託を受けたスタッフ(各校 2 人)が担い。委託料は年間で約 7100 万円ということです。

豊中市教育委員会によると、多い学校では 1 日に 15 人ほどが利用しているという。6 月に保護者にアンケートしたところ、「親が学校まで付き添わないといけないのが負担」という声が多かった。市長は「子どもが慣れてきたら、親が毎回送り届ける必要はないのでは」と話した。

今後は夏休みや冬休みなどの学童保育(放課後こどもクラブ)の児童を対象にした午前 7 時からの預かり事業も検討する。市長は「社会全体の働き方改革が必要なのは言うまでもないが、早朝預かりのニーズがある以上、行政として支援したい」と話しています。

神戸市でも、子育て環境が整った神戸をめざして、9月から試験的に市内7つの小学校で早朝開門を実施しています。

そこで、伺いいたします。

本市でも、小学校を早朝開門し体育館などで受け入れることを検討していただけますか。

早朝の子供の居場所の確保の課題は、共働き家庭の増加を背景に指摘されるようになりました。

総務省の労働力調査によると、平成 25 年から令和 5 年までの 10 年間で、共働き世帯は 200 万世帯増加し、1278 万世帯に。一方、専業主婦世帯は 745 万世帯から 512 万世帯に減少しています。

子育て世帯の転入の増加のためにも、小学校の早朝開門の導入を要望いたします。

次に、園田西武庫線の現状についてお伺いいたします。

園田西武庫線は、県道で県のホームページ概要では、国道 2 号、国道 43 号等の東西主要幹線道路を補完し、大阪府と接続する尼崎市北部市街地における東西幹線道路です。尼崎市北部では、大阪府と連絡する東西道路ネットワークは脆弱なため、慢性的な交通渋滞が発生しております。このため、本路線で整備が残っている御園工区及び藻川工区を供用し全線開通することにより、都市内交通の円滑化と都市機能の充実を図りますとあります。

私は、園田西武庫線の質問を何回もさせていただき、去年の3月 31 日には、新藻川橋の南側歩道部の通行が可能になり、自転車と歩行者は、通行可能になりましたが、そこからの進捗状況がみられません。

そこで、お伺いいたします。

園田西武庫線の、御園工区の開通が、令和 7 年度。藻川工区の開通が、令和 8 年度と聞いていますが、現在の状況をお聞かせください。

(第1登壇終了)

園田西武庫線の開通は、今まで三菱電機の敷地を迂回していましたが、三菱電機を東西に横断することにより渋滞の緩和になります。ですが、近隣の皆様は、車の通行量が増えることを心配しています。問題は、山積していると思います。

お伺いいたします。

バスの運行路線・バス停は、決まりましたか。園田駅から園田東生涯学習プラザへは、バスで行けるようにするとの約束でしたが運行計画に入っていますか。お聞かせください。

子どもの通学路ですが、信号・横断歩道の設置の近隣町会との協議の状況をお聞かせください。

園田西武庫線御園工区の三菱電機の線路を潜る道路への防犯対策(例えば防犯カメラの設置等)はどのように考えられているのかお聞かせください。

園田西武庫線は、県道ですが、所々で暗くなるところがあります、道路に街路灯の設置が必要だと思います、街路灯設置の計画を県は考えていますでしょうかわかる範囲でお聞かせください。

新設の道路が開通すると交通量が増え、人の流れも変わります。県や警察、近隣住民や町会との連携して今後の取り組みの調査・調整をお願いいたします。

次に、園田駅前広場の現状についてお伺いいたします。

駅前広場にまだ残っている建物の撤去工事の時期、道路の開通時期、駅前広場の完成時期を教えてください。

園田豊中線を園田駅まで、つなげる計画は、もう 40 年以上前から計画されています。

本市も、事業の実施に長期間を要したことから、当時の計画案では現在の道路を整備する基準や考え方に合致しないものとなっており、当初計画をそのまま採用し、事業を進めることができないため、整備計画案を見直す必要がありますとのことです。

現在の計画案に至るまでに、地元の住民の方、東園田町会や商店連盟の方々等との、意見交換を繰り返して現在の計画案になります。

既存の駅前道路と園田豊中線が丁字に交差し、空間を整備する計画案で、これまで課題であった、歩行者交通量の多い既存横断歩道を残しながら、新しくできる交差点にも東西方向を結ぶ横断歩道を新設するという案です。

また、駅前に賑わい空間を創出するため、当時のロータリーの計画から賑わいを創出する空間を整備する計画に見直しています。

私も、タウンミーティングに参加させていただき、住民の皆さんの多数の意見を聞かせていただきました。その中で、計画変更の当初から、駅前に交番を設置するか、立ち寄り所を設けて欲しいとの意見がありました。本市の考えは、園田駅前交番は園田の交番として、東園田町4丁目へ移転しました。市から兵庫県警察に対して、園田駅前の巡回頻度を増やす対応や一時的に警察車両等を停車するスペースを設けることができないかについて、兵庫県警察と協議していますとのことです。

お伺いいたします。

兵庫県警との協議の状況を、新たに設置する横断歩道の問題と合わせてお聞かせください。

また、駅前広場での迷惑行為が心配です。街路灯や防犯カメラの設置をしてほしいと意見をいただいています。本市の考えは、整備に合わせて照明は設置いたしますが、防犯カメラは、地元団体からの申請により設置されています。防犯カメラの設置費用を補助する制度がありますので、こちらを活用くださいとのことです。ですが、防犯カメラの設置には制限があります、各丁 1 台の防犯カメラ台数の問題、電気代や維持管理、10年間したら更新取替等の問題です。

お伺いいたします。

園田駅近辺には、飲食店が多数あり迷惑行為が夜遅くまで続くことがあります。現在、駅前広場の社会実験中の観測のために暫定的にカメラを 1 台設置していただいています。今後、継続して駅前広場が見渡せる所に防犯カメラとして設置していただけますか。お考えをお聞かせください。

園田豊中線の開通・園田駅前広場の整備は、40 年以上前から計画されやっと事業完成いたします。より良い駅前広場にするためには、継続して近隣住民や町会・商店連盟との連携が必要です。引き続きよろしくお願いいたします。

以上で、私の質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。